



ヤマハ発動機株式会社  
**第86期 中間報告書**  
2020年1月1日から2020年6月30日まで





株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
第86期第2四半期連結累計期間（以下、上半期）の事業内容をご報告申し上げます。

売上高は6,855億円（前年同期比1,704億円・19.9%減少）、営業利益は191億円（同499億円・72.3%減少）、経常利益は207億円（同495億円・70.5%減少）、親会社株主に帰属する四半期純損失は28億円（前年同期：親会社株主に帰属する四半期純利益520億円）となりました。なお、当上半期の為替換算レートは米ドル108円（前年同期比2円の円高）、ユーロ119円（同5円の円高）でした。

売上高は、ロボティクス事業と金融サービス事業で増収となりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、ランドモビリティ事業とマリン事業で販売台数が大きく減少し、全体では減収となりました。

営業利益は、為替影響や売上高の減少に加え、工場操業停止の影響もあり、全事業で減益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業利益の減益に加え、繰延税金資産の一部を取り崩したことなどにより、赤字となりました。

当社は、株主の皆様利益向上を重要な経営課題と位置付け、企業価値の向上に努めております。

配当につきましては、「稼ぐ力を維持しながら、キャッシュ・フローの範囲内で成長投資と株主還元のバランスを取る」ことを主眼に、配当性向30%を目安としております。当期の配当につきましては、市場環境及び当社の経営状況に鑑み、可能な限り手元資金を確保するため、中間配当は見送りとさせていただきます。期末配当金（年間配当金）予想につきましては、新たに公表した2020年12月期の業績予想の親会社株主に帰属する当期純利益はゼロですが、キャッシュ・フローの状況及び成長投資や設備投資とのバランスを考慮し、1株当たり15円に修正させていただきます。

株主の皆様には、年間配当金の大幅な減額予想によりご迷惑をお掛けいたしますが、現在の経営環境をご理解いただき、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年9月  
代表取締役社長 日高 祥博

## セグメント別の業績

### ● ランドモビリティ 売上高4,290億円 営業損失67億円

二輪車では、新型コロナウイルス感染症の影響により販売台数が減少し、各国の工場を一定期間操業停止したため、減収・減益となりました。加えてインドネシアでは、景気悪化に伴う販売金融の審査厳格化により、総需要が大きく落ち込みました。インドとフィリピンでは、ロックダウンの影響が他の国に比べて長引きました。一方で、中国、ベトナム、台湾では、総需要の回復が進みました。

RV（四輪バギー、レクリエーション・オフハイウェイ・ビークル(ROV)、スノーモビル）では、ROVの販売台数が減少したことやロックダウンにより米国工場を操業停止した結果、赤字幅が拡大しました。

電動アシスト自転車では、新型コロナウイルス感染症の影響による生産遅延や営業活動の自粛により、欧州向けE-kitや日本での販売台数が減少した結果、減収・減益となりました。

### ● マリン 売上高1,670億円 営業利益254億円

第1四半期の船外機の生産調整に加え、第2四半期に新型コロナウイルス感染症の影響を受けた北米のボートビルダーの操業停止やディーラーの休業、米国工場の操業停止により、船外機、ウォータービークルの販売台数が減少しました。また、本社工場も在庫調整のため一定期間操業停止したことにより、減収・減益となりました。

### ● ロボティクス 売上高374億円 営業利益6億円

アジア（中国・台湾・韓国含む）でサーフェスマウンターの販売台数が増加しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により自動車領域の投資が抑制されました。その結果、サーフェスマウンターのモデルミックスが悪化したことや、前年第2四半期会計期間末より子会社化したヤマハモーターロボティクスホールディングス株式会社（YMRH）の影響により、増収・減益となりました。

### ● 金融サービス 売上高226億円 営業利益3億円

米国プライム層向け金融プログラムの自前化により、債権残高が増加し増収となりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を見据えた貸倒引当金の増加により増収・減益となりました。

### ● その他 売上高294億円 営業損失5億円

ゴルフカーや発電機の販売台数が減少し、減収・減益となりました。

## 連結業績予想について

新型コロナウイルス感染症の拡大が当社グループに与える影響について合理的に算定することが困難であったため、未定としておりましたが、現時点で入手可能な予測等を踏まえて業績予想を算定いたしました。

### 2020年12月期連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	換算レート (\$・€)	年間配当金
当初予想 (2020年2月)	17,600億円	1,230億円	1,280億円	800億円	108・120	90円
修正予想 (2020年8月)	13,700億円	200億円	240億円	0億円	108・120	15円
(参考) 前年実績	16,648億円	1,154億円	1,195億円	757億円	109・122	90円

## 次世代操船システム「HARMO（ハルモ）」の実証運航を北海道小樽市にて開始



小樽運河クルーズの様子

「HARMO」は電動モーターを動力とする推進器ユニットと動作を制御するリモートコントロールボックス、直感的な操作を可能とするジョイスティックなどで構成された「次世代操船システムプラットフォーム」です。電動ならではの静粛性により、乗船者がさらに快適に過ごすことができるスマートパッケージボートの提供を目指しています。小樽運河クルーズでの実証運航では、環境にやさしいバイオディーゼルを使用するなど、循環型社会を目指した取り組みを実施しており、環境への調和を加速させています。



「HARMO」推進器部分



次世代プラットフォームを体現する「HARMO」構成イメージ

## 農業を空から変える「自動飛行」のドローン「YMR-08AP」

就業人口の減少や働き手の高齢化など、多くの課題を抱える日本の農業にあって、ロボット技術や情報通信技術を用いた「スマート農業」が大きな期待を集めています。「YMR-08AP」は、自動飛行で農作業の省力化・効率化に貢献する新製品で、オートパイロット機能による自動散布、専用ソフトによる簡単なルート作成等の特長を持ち、当社産業用無人ヘリコプターに匹敵する高い散布品質を実現するモデルです。



浜松市の複数のばれいしょ畑で始まった実証散布

## オフロードでの走行性能を追求した「YPJ-MT Pro」

スポーツ電動アシスト自転車「YPJシリーズ」のフラッグシップモデルです。

主な特徴は車体剛性と最適な重量バランスを実現するフレーム、路面追従性を考慮したリヤサスペンションレイアウト設計、パワフルでシャープなペダリングレスポンスを維持しながら、より高いクランク回転数に対応するドライブユニット、ヤマハレーシングカラーを彷彿とさせるカラーリングデザインなどです。

「YPJシリーズ」は、2015年の発売以来、新感覚のスポーツ自転車として、通勤などの実用シーンから、中・長距離サイクリング、マウンテンライドなどのレジャーまで、快適にライドを楽しみたい方より支持を得ています。今後も、ラインアップの拡充や魅力向上を図り、これまでにないスポーツ自転車の楽しみ方を提案いたします。

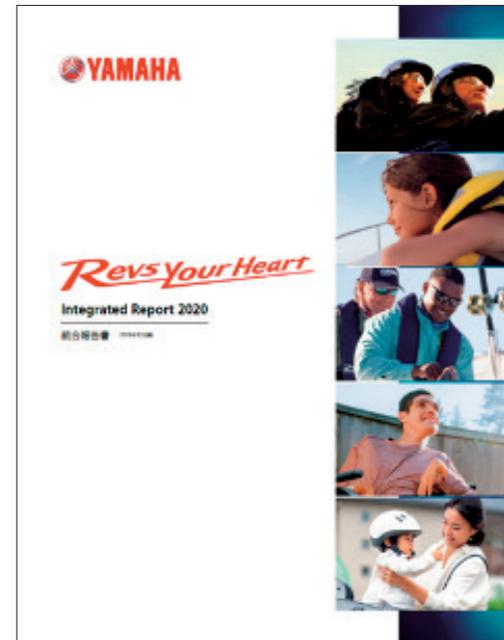


## インバータ発電機「EF900iSGB2」

手軽に扱えるカセットボンベを燃料とするインバータ発電機で、既存モデルと同等の連続運転時間を維持しながら定格出力は従来よりも向上させ、オプションのケーブルでの2台をつなぐ並列運転機能により最大1,800VAを供給可能とし、家庭などの非常用電源としての利便性を高めました。

近年、自然災害が多発していることから、小型ポータブル発電機が注目されており、小型・軽量、簡単な操作と燃料補給、劣化の少ない燃料による長期保管が可能といった特長からカセットボンベタイプの需要が高まり、特に家庭用電源と同等の良質な電気を供給できるインバータ方式は人気を集めています。





統合報告書2020を発行

当社は昨年に引き続き、統合報告書2020を発行いたしました。社長メッセージを中心に、当社の全体像や特徴ある事業領域の歴史と多様性、持続的成長に向けての取り組み、当社の競争力を生み出す基盤について多面的に説明しています。



統合報告書掲載アドレス

ヤマハ発動機ファン株主クラブのご紹介

当クラブは当社株式を100株以上保有している株主様にご登録いただける会員制のクラブで、2018年9月に発足し株主様とのリレーションをさらに強化し、当社のことをより深く知っていただくため、当社施設（工場等）ご視察会、製品体験試乗会、取締役との座談会等の会員様向けイベントを実施してきました。新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの開催は見合わせておりますが、今後は会員様向けへのメールマガジンで当社の取り組みや魅力を紹介するトピックスやコンテンツのご案内等を企画しています。未登録の株主様はこの機会に登録をご検討ください。

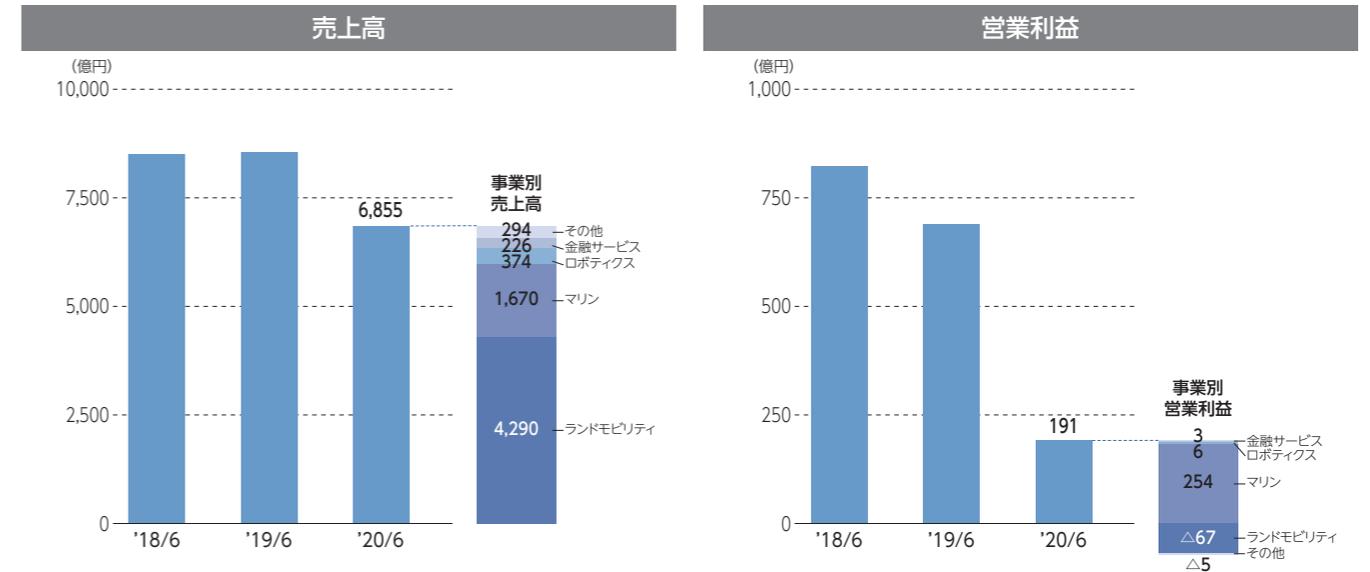


東京モーターショー2019  
ヤマハブース見学ツアーの様子

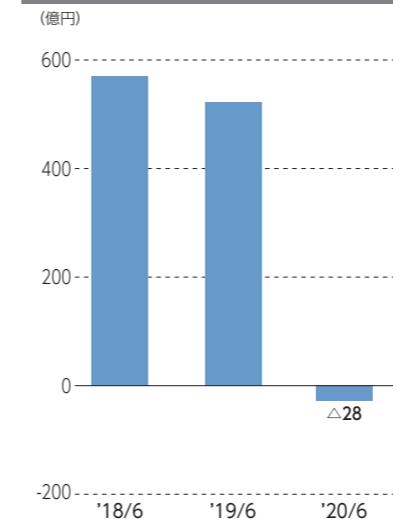


ファン株主クラブ専用ウェブサイト <https://yamaha-motor-shc.jp/>  
お問い合わせ先 ファン株主クラブ専用ダイヤル 0120-196-738

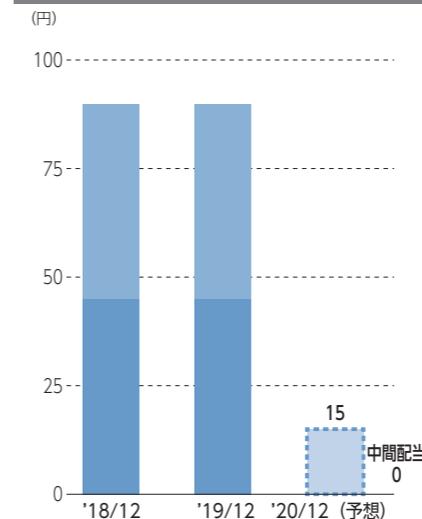
連結業績（第2四半期連結累計期間）の推移



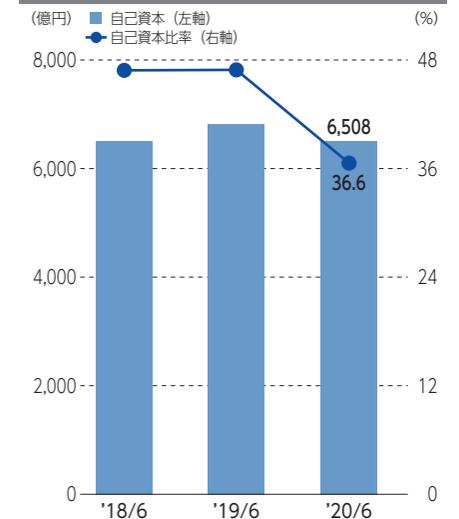
親会社株主に帰属する四半期純利益



1株当たり配当金（年間）



自己資本・自己資本比率



ヤマハ発動機 IR  より詳細な財務情報をご希望の方は、当社ホームページに掲載している決算短信などをご参照ください。

<https://global.yamaha-motor.com/jp/ir/>

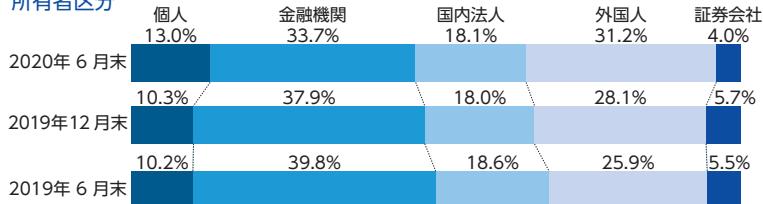


## 株式情報 (2020年6月30日現在)

発行可能株式総数 900,000,000株 発行済株式総数 350,122,835株

株主数 93,378名

### 所有者区分



(注)「個人」には自己株式が含まれています。

### 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
ヤマハ株式会社	34,642	9.91
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	30,492	8.73
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	18,091	5.18
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	14,496	4.29
トヨタ自動車株式会社	12,500	3.58
株式会社みずほ銀行	8,277	2.37
SMBC日興証券株式会社	6,867	1.97
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	5,822	1.67
株式会社静岡銀行	5,649	1.62
三井物産株式会社	5,451	1.56

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

## 役員 (2020年6月30日現在)

代表取締役会長	柳 弘 之
代表取締役社長	日 高 祥 博
代表取締役	渡 部 克 明
取締役	加 藤 敏 純
取締役	山 地 勝 仁
取締役	島 本 誠
取締役	大 川 達 実
社外取締役	中 田 卓 也
社外取締役	上 釜 健 宏
社外取締役	田 代 祐 子
社外取締役	大 橋 徹 二
常勤監査役	廣 永 賢 二
常勤監査役	齋 藤 順 三
社外監査役	伊 香 賀 正 彦
社外監査役	米 正 剛

## 株主インフォメーション

事業年度	1月1日から12月31日まで
剰余金の配当の基準日	期末配当：12月31日 中間配当：6月30日
定時株主総会	3月
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告によります。ただし、やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
各種お問合せ先	〒168-0063
郵便物送付先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社全国本支店

### お知らせ

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等のお申出先
  - 証券会社に口座を開設されている株主様  
お取引先の証券会社等にお申出ください。
  - 証券会社に口座がなく、特別口座に記録されている株主様  
特別口座を開設している下記の口座管理機関にお申出ください。  
口座管理機関：三井住友信託銀行株式会社
- 配当金のお受取りについて  
配当金の支払期間が過ぎた場合でも、支払開始の日から3年以内はお受取りいただけます。株主名簿管理人にお申出ください。支払開始の日から3年を経過した場合、当社定款の規定によりお受取りいただけませんのでご注意ください。

## ヤマハ発動機株式会社

〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500番地

電話 0538-32-1145

<https://global.yamaha-motor.com/jp/>

